



ヴィラ城山で咲いた蓮の花



発行所
 社会福祉法人
 道志会
 神奈川県綾瀬市早川城山2-11-3
 ☎0467-76-3399 (代表)
 発行人 川邊 溪子

新年明けましておめでとうございませう。



理事長 川邊 溪子

新型コロナウイルス拡大から四年が過ぎました。この間、世界中が日常生活の変化を余儀なく受け止めて参りました。

しかし、この四年間で人の心の変化により戦争が起き、恐ろしく長いトンネルから抜け出る事が難しく、世界中が悲しみに身の置きようも無く私達は、日々目の前の出来事に追われるだけの現状です。

それでも、私達は生きる為に日々食事を摂り介護の仕事に奮闘し、ご家族様や地域の皆様と笑顔でお会いできる今を、心から感謝をせずには居られません。

私的な思いですが、人間は苦しい時イライラする時、夫婦喧嘩や子供が学校等で、いじめをした時「栄養不足」にいたっているのでは無いかと思っています。

終戦後、私達の子供の頃の食物は生きる為の食事でした。ジャガイモ、サツマイモが主食で、白米

はお正月か、お祭りの時だけであった。あとは配給制、今のウクライナと同じ時代があった事を忘れてはならないと感じております。

日本の未来に喫緊の施策は「生きる為の食事」ではなく「健康で幸せに生きる」為に、食材料の安定化と水の確保を考えて欲しいと願っています。

戦争の無い「健康で幸せに生きる」事は、人間に与えられた一つの特権であるのではないかと思うからです。

道志会では、食の大切さを開園以来法人理念に明記し、できるだけ地産地消と薬膳料理の食材を無駄なく使用する事を心掛けております。近所に畑を借り、専任の職員が作る新鮮な野菜を施設で使用し、ご入居者に喜ばれております。今年も良い年になりますよう、私始め法人役員と職員一同頑張つて参ります。

今年も皆様のご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



かながわ福祉研究大会で 優秀賞を頂きました

道志会老人ホーム 施設長 大滝愛子

神奈川県高齢者福祉施設協議会が主催している「かながわ高齢者福祉研究大会」。政令指定都市を除く神奈川県内の高齢者福祉事業所に就業している職員が、施設内で日頃実践している介護福祉に関する事例を研究発表形式で発表する大会です。これまで一般としての参加は行っていましたが、令和5年度、道志会老人ホーム初の発表者として参加した結果、二組ともに優秀賞を受賞。我々の取り組みが評価されたことは職員にとって励みとなりました。この経験はご利用者様とご家族様、そして地域の皆様に安心してご利用いただける介護サービスの提供へと繋がるものと感じています。事例発表にご同意頂いたご利用者様とご家族様、そして事業所を問わず協力を頂いた道志会の職員へ感謝申し上げます。



受賞に寄せて

道志会老人ホーム 3F ケアリーダー 山崎進太郎



7月に行われましたかながわ高齢者福祉研究大会において、我々職員が発表した「特養からの卒業」というテーマが優秀賞を受賞しました。

このテーマは施設生活の中でリハビリや健康管理に努めたご利用者様が実際に自宅復帰された事を「卒業」と称し、その経過やご家族様との関りを発表したものでした。

普段介護ワーカーとして業務に取り組む中で、はたしてそれが正解であったのか迷い考える時があります。その中でこうした発表を通し評価を得られたことは今後の取り組みにおいて励みとなり、また自信となりました。

ですが人と接するにあたって正解と呼べるものは全て違うものと考えます。

迷い考え、選んだものが正解となるよう、そしてより良いと思って頂ける介護を目指し、今後も取り組んでいく所存です。

最後にこの受賞にあたり職員だけでなく、御家族様、そして御利用者様の多大な協力を



いただいた事、職員を代表してお礼申し上げます。ありがとうございました。

かながわ高齢者福祉研究大会に出場して

道志会老人ホーム機能訓練指導員 山口武志



去る7/5パシフィコ横浜で開催された「第21回かながわ高齢者福祉研究大会」に出場させていただきました。この大会は、福祉分野の発展向上及び高齢者の豊かな生活の実現に向け福祉関係職員の創意工夫に関する発表の場として設けられ、今回、神奈川県内86施設が参加しました。

私は、日頃から懸案となっていた配膳トレイ上の食べ物の左側半分を残される利用者に関し、その改善策として試行錯誤を繰り返した内容について、発表をしてみました。

様々の関係資料を当たってみたところ、食事を残す原因の1つとして、脳梗塞後遺症による半側空間無視という症状が浮上しました。半側空間無視とは脳の損傷により、視力の問題とは別に目にして空間の半分が認識できなくなることです。今回、食事提供時の左半分の食事を気付く練習として、動物の全体像を1/2にカットしたカードを複数左右に並べ（配膳トレイの幅が40cmであることから、左右20cm間隔に配置）その中から利用者に手指を使用して2枚1組の動物の姿の復元を求めたり、左側に配置した計算式で解いた回答を口ずさみながら右側に配置（左右20cm間隔に配置）した三角形の図形（脳への刺激が得られやすい）の中から、その回答を指差して選定してもらうなどしました。

当初は左側の物体を見落とすため注視を促す必要がありましたが、繰り返し練習をしていくうちに徐々に左側へ意識を向けることができるようになり、その頃より左半分の残食も減少し、ついにご自身で完食できるようになりました。



今回、この取り組みを研究大会にて発表し、優秀賞を頂くことができました。

今後も、ご利用者の発展可能性を信じて様々な工夫を凝らし、ご利用者のより良い生活に繋げるよう取り組んでまいりたいと思います。

道志会の月ごとのイベントを御紹介して行きます。

START

デイ



リハビリ風景 1,2,3,4

月ごとの活動をご笑覧下さい。



ホーム



ホーム

トマト収穫
おいしいトマトが獲れました



誕生日会

いずみハーモニカアンサンブルの皆様が誕生日会のお祝にかけつけてくださいました

ホーム



ホーム



西デイ



お帰り前の指体操

西デイ



綾瀬西高校との楽しい交流会
黒ひげ危機一髪「せーの!!」



ウイラ

誕生日会
104才の笑顔

西デイ



笹かざり作りしました



コロナ後ようやく開催できました



大勢の皆様のご来園ありがとうございました！



ホーム



御利用者も参加草むしり



ホーム

ちょっと一息、頑張りました！

デイ



ケアセンター夏祭り



灯ろう

ワイラ

西デイ



100オハッピーバースデー

デイ



青葉太鼓

ケアセンター敬老会



デイ



西デイ

高校生の案内で文化祭に行ってきました



お祝いに一舞

ホーム



わたあめ美味しい

市役所食堂“東山”へ個別外出レクに行きました定食安くておいしい!



西デイ

五社神社のお神輿

みんなで声をあわせワッショイワッショイ



ウイラ

笑顔もポーズもステキです



西デイ



ホーム

感謝をこめてお賽銭箱へ



ウイラ

ポンちゃん一座 腹話術の慰問



ウイラ

敬老のお祝に不二保育園2歳児から103歳へプレゼント。その差101歳



包括

実習生とご利用者の
社交ダンス



デイ

10月
道志会号

おたのしみ会は宮ヶ瀬ダムに日帰り旅行



西デイ

目線はボールに集中だ!! おとすな! 慎重に



デイ



西デイ

10月運動会
楽しみにしていた運動会。紅白
真剣勝負です!

スピード勝負だ
やったー!!



ホーム

ハッピーハロウィン



不二保育園児にお菓子を渡しています



西デイ

綾瀬の最長寿 祝 105歳
おめでとうございます!

道志会ホームページも
合わせてご覧下さい。

11月

道志会号

日頃のクラブ
活動で作成した
作品のおひろ
めです。良く
できていま
すね～



西デイ



ホーム

真っ赤な紅葉で仕上げますよ！！



西デイ

私、写ってるかしら・・・



バザー

開催前のミーティング
ボランティアの方々に支えられ、いよいよ開催



西デイ

素敵な作品たくさん見ました



バザー

10：00のスタートでこのにぎわい
掘出し物たくさんありました



ガイ

綾北中学校マーチングの皆さんが来てくださいました。
12/9の全国大会では100点満点での優勝、おめでとうございます！



デイ

作品展

道志会 不二保育園から

不二保育園は2023年4月から3ヵ月に渡る休園期間を経て、2023年7月3日に再オープンいたしました。

再オープン当初は園児数も数名と少ない状態でしたが、おかげ様を持ちまして、現在は10数名の園児が毎日元気に楽しく保育園で過ごしております。

今回、ゼロからのスタートでしたが、この間の保育士・事務担当の頑張りにより、また、お預かりした園児の皆さんの笑顔をたくさん見られたことにより、今に至ることができたと思っております。

企業主導型保育事業の保育園として、これからも職員のみならず地域の皆様に貢献できる施設として頑張っております。あらためまして、どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

ご面会者との笑顔の談話が増え、慰問に来られるボランティアさんとの交流が増え、徐々にではありますがここ数年間とは違った雰囲気の流れています。心からこの生活が続くことを祈るばかりでございます。法人内の様々な行事も再開しておりますが、久々の行事に職員が戸惑うこともあり、ボランティア他多くの皆様にご迷惑をお掛けしていることもあると思っております。どうかご容赦頂き叱咤激励を頂きたいと思っております。これからもお力添えの程お願い申し上げます。

事務長 倉下 学

おこわり

※今回掲載させて頂いたご入居者・ご家族の写真や文章については了解を得ております。 ※会報発行にあたりご意見等をぜひお寄せください。



道志会老人ホーム



道志会ケアセンター

全日本プロレス興行に参加して

道志会老人ホーム 4F サブリーダー 富山 凌

11月26日湘南藤沢地方卸売市場にて開催された全日本プロレスの興行に、全日本プロレス所属の諏訪魔選手にご招待頂き、ご入居者6名、付添職員6名で観戦に行きました。

諏訪魔選手は藤沢市出身で、デビューから19年のキャリアのある有名選手です。実は先の6月に神奈川県福利協会様からご縁を頂き、道志会老人ホームへ慰問に来てくださったのです。

いよいよ11月の試合当日、この日は約5℃の寒冷日。野外会場の為、防寒装備を整えて行きました。観戦への熱で試合中はそこまで寒さは感じなかった!と言いたところでしたが・・・いえ白熱した試合は私たちを熱くしてくれました。

ご入居者も様々に楽しまれ、大きな声を出したり、真剣な眼差しで試合に見入っていたり、川村チーフ(施設で留守番組の)渾身の力作「応援うちわ」を手に、日常生活では見たことのないような姿で応援しました。

全試合終了後には、試合直後の諏訪魔選手がファンサービスの合間を縫い、ご入居者に挨拶に来て下さり、さらには自身のグッズ、サイン入りのタオルを1人1枚首に掛けて下さいました。

これには皆さん大喜び。本当にありがとうございました。

今回観戦できなかったご利用者の中にも、観戦を希望していた方がいらっしまったので、またの機会があれば応援に行きたいと思っております。

